

税についての作文 名寄税務署長賞など7人が入賞

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が主催する、中学生の「税についての作文」について下川町も共催し募集を行いました。これは、将来を担う中学生の皆さんが、身近に感じた税に関する事、学校で学んだ税に関する事、テレビや新聞で知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税についての関心を持ち、正しい理解を深めていただくことを趣旨として行われているもので、下川町からは、下川中学校3年生28人の応募があり、次の優秀作7品を選考し、表彰及び記念品の贈呈を行いました。

名寄税務署長賞

三浦 かなな さん

名寄間税会会長賞

松岡 沙奈 さん

下川町優秀賞

水間 智仁 さん
久末 優奈 さん
宮末 武菜 さん
原田 島ひかり さん
原田 梨さん



名寄税務署長賞

「税でつくる
明るい未来」



下川中学校三年
三浦 かなな

「えっ、国際協力に税金が関係しているの？」私には驚いた。私は国際協力に興味がある。今まで国際協力についての本を読んだり、インターネットで調べて人よりもずっと詳しいはずだと思っていた。それなのに、大事なお金のことを考えたことが一度もなかったことに気づいたからだ。私は、国際支援事業について深く学ぶため、研修でタイを訪れる機会を得た。訪問先のJICAタイ事務所ではたくさんの発見があった。その中で、税金について知ったことが2つあった。一つ目は、JICA

Aは税金等を使って国際支援をしていること。二つ目は、税金を使った支援には貸すこと、寄付することの2つの方法があることだ。税金で、世界の笑顔を増やしていくのだ。「外国の川がキレイになることは日本を含めた世界中の海をキレイにすることにもつながっているんです。」事務所の人が言った言葉が印象的だった。国際協力は、途上国のためだけではない。その後私達は、日本の税金がかかわるタイの施設を見学した。障がいのある人の就業支援センターでは誰もが笑顔で楽しそうに働いていた。障がいのある子どもたちの学校では日本人ボランティアが子どもたちと共に学んでいた。彼らの居場所の一部に日本の税金が関わっていることを嬉しく思う。以前から懸念していたがタイでは渋滞が大きな社会問題になっていく。私達も渋滞に巻き込まれ危うく飛行機に遅れるところだった。国の発展で人々が車を持つよ

うになり、PM2.5で苦しむ人がたくさんいて、CO2による環境破壊も進んでいるそうだ。私たちが見学した組織は、これらの問題を解消するため「円借款」を使って電車を運行していた。円借款とは低金利で長期の資金を貸し付ける制度で、より早い経済の発展に貢献している。今はまだ線が少ないことや、タイ人にとって運賃が高いことから目に見える効果は出ていないが、少し時間がかかってもみんなの暮らしをより良くしていく仕組みのように見えた。この研修でタイ人の友達ができた。税金について知ってから、買い物に行くとき彼らの顔を思い出す。実際に現地に行くと交流し、見ず知らずだった世界中の人々が身近に感じられるようになった。私たちはみんな同じ星で助け合って生きている。私たちの税金が日本と、世界の架け橋になるよう私も税金についてもっともつとと考えていきたい。

お問い合わせ

税務住民課 税務係

☎ 4-2511-内線113 ☆ 4-2511-03